

エコアクション21

令和5年度

運用期間：令和5年6月～令和6年5月

第13版 環境経営レポート

発行日：令和6年9月25日



関門エンジニアリング有限会

目 次

I 組織の概要	P 1
II 対象範囲、レポート対象期間及び発行日	P 2
III 環境経営方針	P 3
IV 環境経営目標	P 4
V 環境経営計画	P 5
VI 環境経営目標の実績	P 6
VII 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P 9
VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P 10
IX 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	P 10
X 環境経営取組の状況	P 11

I 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名：関門エンジニアリング有限会社

代表者名：宮本 鎮治

会社設立：昭和47年11月27日

2) 所在地

本社 〒801-0841

福岡県北九州市門司区西海岸1-4-3

倉庫 〒801-0821

福岡県北九州市門司区大字黒川304番地

3) 担当者及び連絡先

環境管理責任者：中川 智恵子

連絡先：TEL 093- 332-3300

：FAX 093-332-3888

4) 事業内容

福岡県知事許可（特-22）第 10170 号

土木工事業・とび・土工工事業・石工事業・舗装工事業・鋼構造物工事業・
しゅんせつ工事業・塗装工事業・水道施設工事業

5) 事業規模

資本金：4,200万円

項目	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
売上高	百万円	173	92	118
従業員	人	7	7	7
床面積	m ²	120.2	120.2	120.2

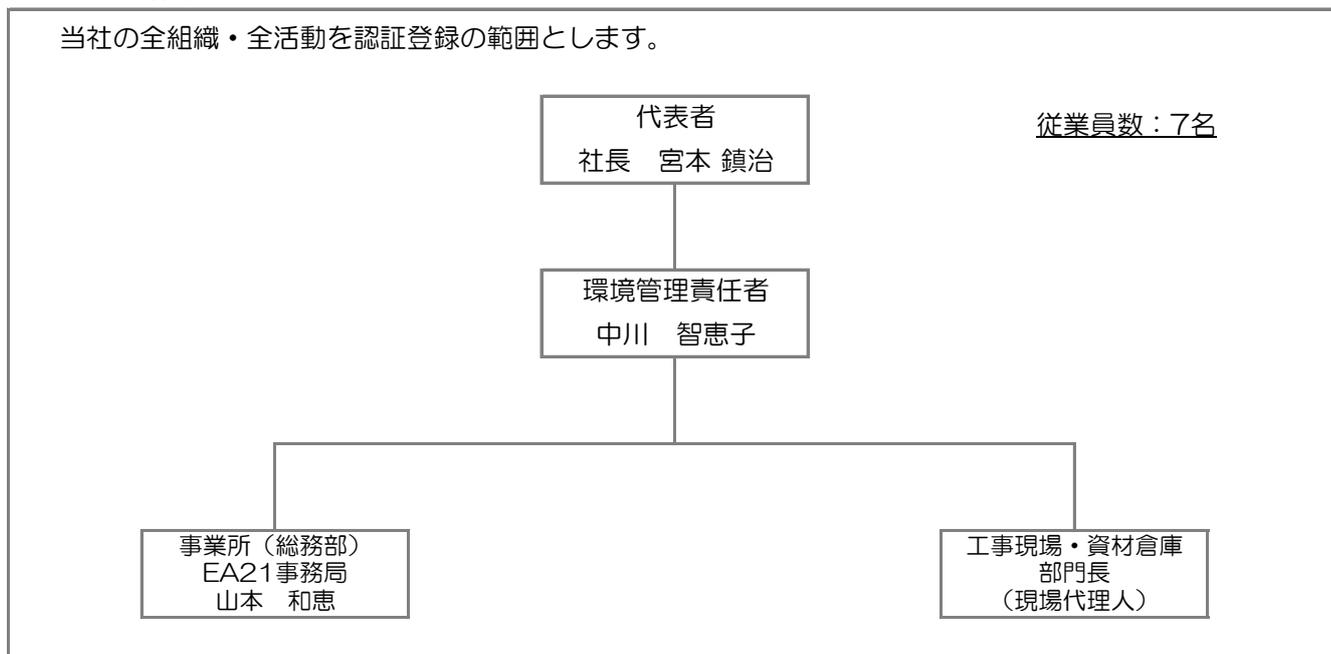
6) 事業年度

6月 1日 ~ 翌年 5月31日

II 対象範囲、レポート対象期間及び発行日

1) 対象範囲

EA21実施体制



EA21役割分担表

担当者	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の設定、全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する。 環境への取組を実施するための資源の準備をする。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・実行し、環境実績を向上させる。 環境の実施状況及び情報の収集・改善の必要性の有無を判断する。 環境経営目標、環境経営計画を作成し達成状況及び活動計画の実施状況を確認する。 上記の結果を代表者に報告する。
事業所（総務部） EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計管理を行う。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
工事現場 部門長 (現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する。 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する。 自部門に関連する法規制等を確認・遵守する。 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 環境に配慮した機械の使用・工法を取込む。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と、環境への取組の重要性を自覚する。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する。

2) レポート対象期間及び発行日

レポート対象期間 令和 5年 6月 1日～令和 6年 5月 31日

レポート発行日 令和 6年 9月 25日

〈基本理念〉

関門エンジニアリング有限会社は、建設業としての事業活動を通じて、「地球環境への共生（調和）」を目指し、全社員一丸となって法令遵守のもと継続的に環境保全活動に取り組めます。

〈活動指針〉

環境への取組は経営の最重要課題のひとつと捉え、環境経営システムの構築・運営により以下の取組を実施します。

1. 事業活動において関連する環境関連法規を遵守します。
2. 事業活動に伴う環境への負荷の削減。
 - 1) 電力・化石燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 事業所における一般廃棄物排出量の削減
 - 3) 工事現場における産業廃棄物排出量の削減
 - 4) 水使用量の削減（節水）
3. 上記の環境方針を実現するため、環境経営目標・環境経営計画の設定と定期的な評価による見直しを継続して行います。
4. 環境経営レポートを作成・公表する等で環境コミュニケーションを推進します。

制定日：平成 24年 1月 10日
改定日：令和 4年 2月 17日
関門エンジニアリング有限会社
代表取締役 宮本 鎮治

IV 環境経営目標

令和 5年度【事業所】

※基準値（令和 元年度 実績値）

目標・項目	単位	基準値	目標値		
		令和 元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	9,822	9,626	9,527	9,429
	%	—	(-2%)	(-3%)	(-4%)
電力使用量の削減	kWh	9,449	9,260	9,166	9,071
	%	—	(-2%)	(-3%)	(-4%)
ガソリン使用量の削減	ℓ	2,083	2,041	2,021	2,000
	%	—	(-2%)	(-3%)	(-4%)
一般廃棄物排出量の削減	kg %	14.1 —	13.8 (-2%)	13.68 (-3%)	13.54 (-4%)
水使用量の削減（節水）	節水に努める				
ワクチン寄付（社会的貢献）	実施状況	100	100	100	100

※二酸化炭素排出量は、九州電力の実排出係数0.370kg-CO₂/kWh（令和元年度）を使用。

※化学物質については、当社の事業活動において使用しない。

※水使用量については、当事業所のみでの実数把握が困難なので、数値目標ではなく取組目標とします。

※社会的貢献のペットボトルキャップの回収については、平成27年度より開始。数値目標ではなく取組目標とします。

令和 5年度【工事現場】

※基準値（令和 元年度 実績値）

目標・項目	単位	基準値	目標値		
		令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	25,170	24,667	24,415	24,163
	%	—	(-2%)	(-3%)	(-4%)
電力使用量の削減	kWh	3,278	3,212	3,180	3,147
	%	—	(-2%)	(-3%)	(-4%)
ガソリン使用量の削減	ℓ	3,169	3,106	3,074	3,042
	%	—	(-2%)	(-3%)	(-4%)
軽油使用量の削減	ℓ	6,234	6,109	6,047	5,985
	%	—	(-2%)	(-3%)	(-4%)
低排出ガス、低振動・騒音 機械・機材の使用率	%	100	100	100	100
美化活動（社会的貢献）	回	9	9	9	9
水使用量の削減（節水）	節水に努める				
産業廃棄物の適正管理	%	100	100	100	100

※二酸化炭素排出量は、九州電力の実排出係数0.370kg-CO₂/kWh（令和元年度）を使用。

※化学物質については、当社の事業活動において使用しない。

※水使用量については、基本的に現場事務所には水道設備を設置しないので、数値目標ではなく取組目標とします。

V 環境経営計画

令和 5年度【事業所】

目標・項目	取組 責任者	活動項目	活動計画（月）												
			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
電力使用量の削減	総務部	・IPJ温度設定(冷房：28℃ 暖房：20℃)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・待機電気機器のスイッチ節電	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・不必要な電灯の消灯	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・節電シール貼付	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・天井埋込型ファン等の設置	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガソリン使用量の削減	総務部	・IDドライブ（急発進、急加速の禁止）の敢行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		・アイドリングストップの敢行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
一般廃棄物排出量の削減	総務部	・分別収集の徹底	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・裏紙等の使用の徹底(コピー用紙削減)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・使用済み封筒等の再利用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水使用量の削減(節水)	総務部	・流し洗いをしない	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		・節水シール貼付	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ワクチン寄付(社会的貢献)	総務部	・飲み終えたペットボトルキャップの回収	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

令和 5年度【工事現場】

目標・項目	取組 責任者	活動項目	活動計画（月）												
			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
電力使用量の削減	部門長 (現場代理人)	・IPJ温度設定(冷房：28℃ 暖房：20℃)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・待機電気機器のスイッチ節電	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・不必要な電灯の消灯	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・節電シール貼付	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガソリン使用量の削減	部門長 (現場代理人)	・IDドライブ（急発進、急加速の禁止）の敢行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		・アイドリングストップの敢行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
軽油使用量の削減	部門長 (現場代理人)	・IDドライブ（急発進、急加速の禁止）の敢行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・作業停止時のアイドリングストップ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・建設機械等の定期点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
環境対策型機械の使用率	部門長 (現場代理人)	・3次排出ガス対策型機械・機材の選択使用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・低振動・低騒音型機械・機材の選択使用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
美化活動(社会的貢献)	部門長 (現場代理人)	・工事現場及び周辺地域の清掃等	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・5S活動	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水使用量の削減(節水)	部門長 (現場代理人)	・流し洗いをしない	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・節水シール貼付	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物の適正管理	部門長 (現場代理人)	・現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・産業廃棄物管理票による適正処理・管理	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		・再生資材購入の促進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

VI 環境経営目標の実績

令和 5年度【事業所】

※基準値（令和元年度 実績値）

目標・項目	単位	基準値	令和 5年度		判定
		令和元年度	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	9,822	9,429	5,985	○
電力使用量の削減	kWh	9,449	9,071	8,193	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	2,083	2,000	1,273	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	14.10	13.54	16.8	×
水使用量の削減（節水）	節水に努める				—
ワクチン寄付（社会的貢献）	実施状況	—	○	○	○

※二酸化炭素排出量は、九州電力の実排出係数0.370kg-CO₂/kWh（令和元年度）を使用。

※化学物質については、当社の事業活動において使用しない。

※水使用量については、当事業所のみでの実数把握が困難なので、数値目標ではなく取組目標とします。

※社会的貢献はペットボトルキャップの回収とし、平成27年度より開始。数値目標ではなく取組目標とします。

令和 5年度【工事現場】

※基準値（令和元年度 実績値）

目標・項目	単位	基準値	令和 5年度		判定
		令和元年度	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	25,170	24,163	21,570	○
電力使用量の削減	kWh	3,278	3,147	2,943	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	3,169	3,042	2,315	○
軽油使用量の削減	ℓ	6,234	5,985	5,856	○
低排出ガス、低振動・騒音 機械・機材の使用率	%	100	100	100	○
美化活動（社会的貢献）	回	9	9	12	○
水使用量の削減（節水）	節水に努める				—
産業廃棄物の適正管理	%	100	100	100	○

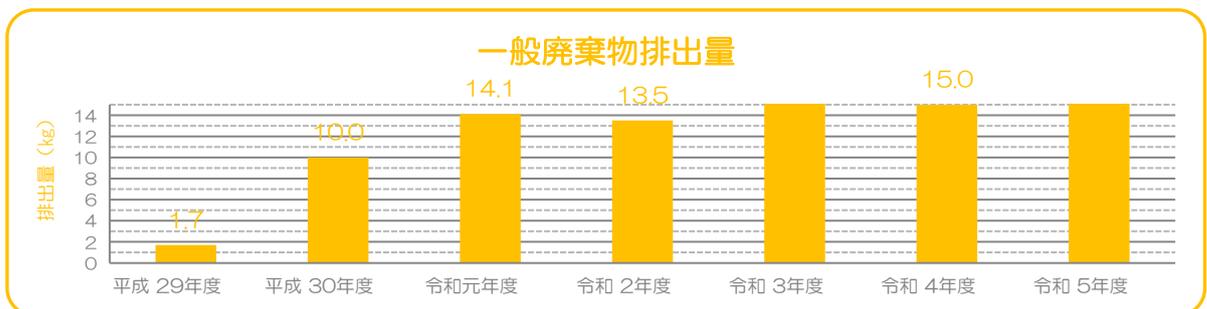
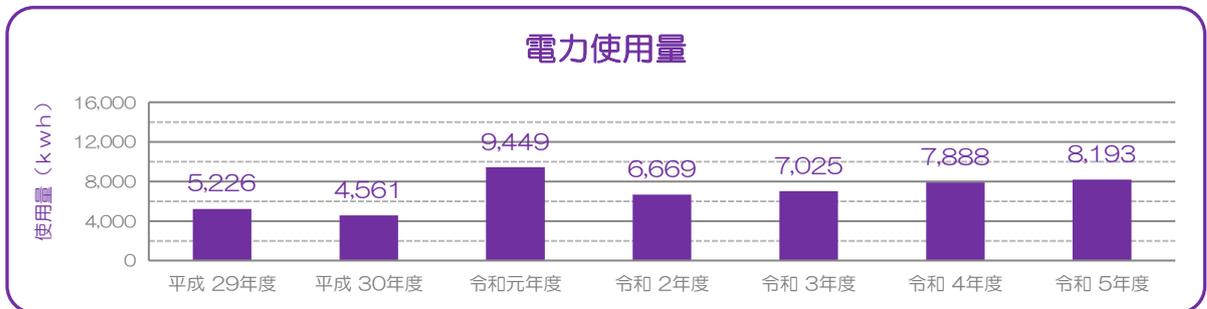
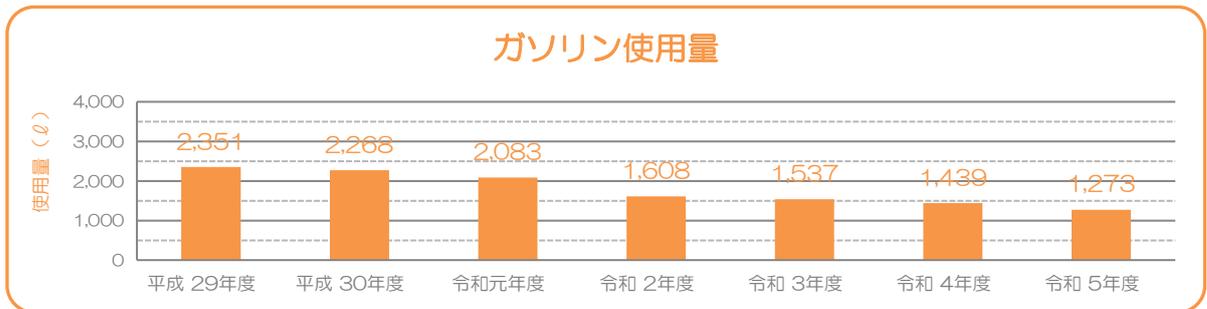
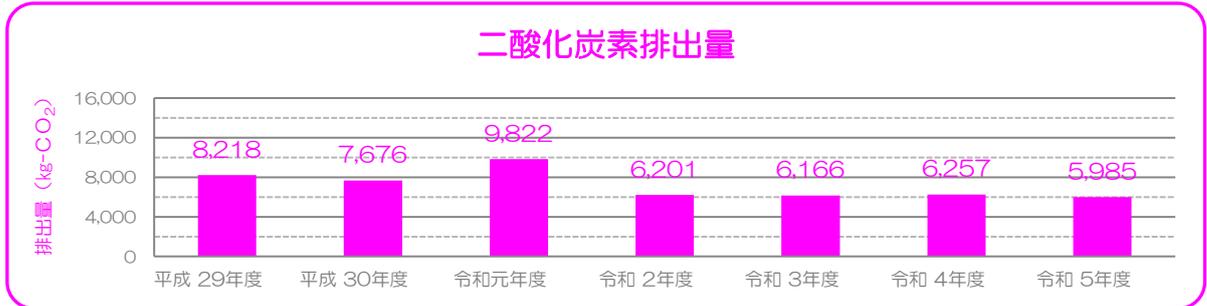
※二酸化炭素排出量は、九州電力の実排出係数0.370kg-CO₂/kWh（令和元年度）を使用。

※化学物質については、当社の事業活動において使用しない。

※水使用量については、基本的に現場事務所には水道設備を設置しないので、数値目標ではなく取組目標とします。

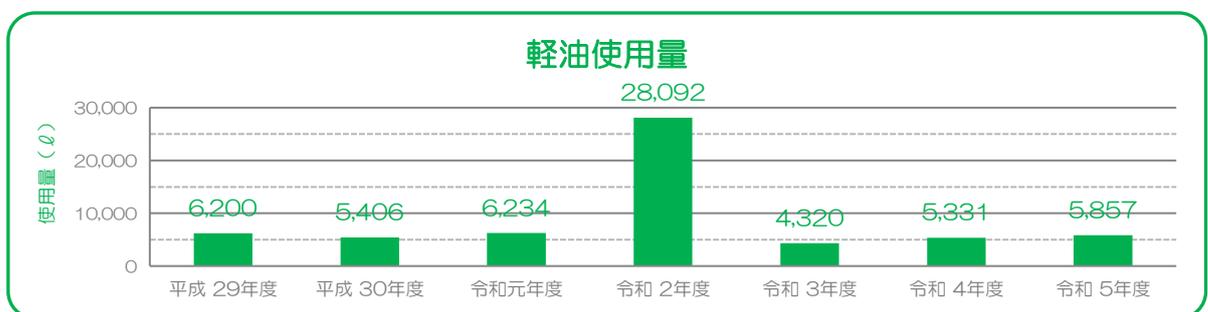
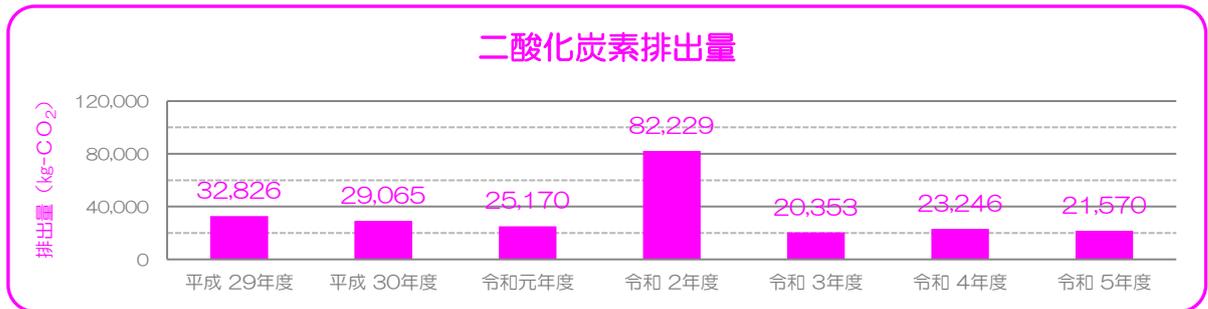
VI 環境経営目標の実績

【事業所】 平成 29年度～令和 5年度までの実績



VI 環境経営目標の実績

【工事現場】 平成 29年度～令和 5年度までの実績



Ⅶ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

令和 5年度【事業所】

○ できた △ あまりできなかった × 全くできなかった

目標・項目	取組責任者	活動項目	取組結果	評価	次年度の取組内容
電力使用量の削減	総務部	・IPJ温度設定(冷房：28℃ 暖房：20℃)	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・待機電気機器のスイッチ節電	○		
		・不必要な電灯の消灯	○		
		・節電シール貼付	○		
ガソリン使用量の削減	総務部	・Eコドライブ(急発進、急加速の禁止)の取組	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・アイドリングストップの取組	○		
一般廃棄物排出量の削減	総務部	・分別収集の徹底	○	目標未達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・裏紙等の使用の徹底(コピー用紙削減)	○		
		・使用済み封筒等の再利用	○		
水使用量の削減(節水)	総務部	・流し洗いをしない	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・節水シール貼付	○		
ワクチン寄付(社会的貢献)	総務部	・飲み終わったペットボトルキャップの回収	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く

令和 5年度【工事現場】

○ できた △ あまりできなかった × 全くできなかった

目標・項目	取組責任者	活動項目	取組結果	評価	次年度の取組内容
電力使用量の削減	部門長(現場代理人)	・IPJ温度設定(冷房：28℃ 暖房：20℃)	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・待機電気機器のスイッチ節電	○		
		・不必要な電灯の消灯	○		
		・節電シール貼付	○		
ガソリン使用量の削減	部門長(現場代理人)	・Eコドライブ(急発進、急加速の禁止)の取組	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・アイドリングストップの取組	○		
軽油使用量の削減	部門長(現場代理人)	・Eコドライブ(急発進、急加速の禁止)の取組	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・作業停止時のアイドリングストップ	○		
		・建設機械等の定期点検	○		
環境対策型機械の使用率	部門長(現場代理人)	・3次排出ガス対策型機械・機材の選択使用	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・低振動・低騒音型機械・機材の選択使用	○		
美化活動(社会的貢献)	部門長(現場代理人)	・工事現場及び周辺地域の清掃等	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・5S活動	○		
水使用量の削減(節水)	総務部	・流し洗いをしない	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・節水シール貼付	○		
産業廃棄物の適正管理	部門長(現場代理人)	・現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	○	目標達成	次年度も継続して取り組んで行く
		・産業廃棄物管理票による適正処理・管理	○		
		・再生資材購入の促進	○		

Ⅷ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに訴訟等の有無

当社の事業活動において、環境関連法規等（廃棄物処理法、建設リサイクル法、騒音規制法、振動規制法、フロン排出抑制法）の遵守評価の結果違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘及び利害関係者からの訴訟もありませんでした。

Ⅸ 代表者による全体評価と見直し・指示の結果（コメント）

令和元年度の実績値を基準値に設定して4年が経過した。事業所及び工事現場でのCO2排出量は年々削減出来ており、目標は達成できたと評価出来る。

御社の環境経営方針に掲げている「定期的な環境経営目標の見直し」として、次年度の目標数値は今年度の実績値を適用する。改めて社員一丸となり、CO2削減や環境に配慮した活動に取り組むように努める。

令和5年度 環境経営取組の状況【事業所】



1. 消防点検の様子
 事業所内の火災報知器に異常がないか確認していただいた。
 何も異常なしだった。
 消火器の使用期限の確認も必ず行う。



2. 消火訓練実施
 いざという時に消火器を使えるように、出火したと想定して実践した。
 始めは遠くから火元に向かって消火し、そのまま徐々に火元へ近づいていく。
 訓練で使う消火器には水が入った物を使用。



3. 避難器具（昇降機）
 昇降機の使用方の説明を受けたが、実際の緊急時にスムーズに使えるか、、、古いビルのせいか、説明書きのイラストもかなりレトロ。

